【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2009-14073(P2009-14073A)
【公開日】平成21年1月22日(2009.1.22)
【年通号数】公開・登録公報2009-003
【出願番号】特願2007-175248(P2007-175248)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　7/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　7/08　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月20日(2010.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無端伝動体に沿って配置されるテンショナアームと、該テンショナアームを前記無端伝動体側に押圧するプランジャーを有するリフターとを備えるテンショナ装置において、
前記テンショナアームにおける前記プランジャーにより押圧される受圧部に肉抜き部が設けられることを特徴とするテンショナ装置。
【請求項２】
前記テンショナアームが、金属製の板状芯材の表裏に、それぞれ板状ゴム部材又は板状樹脂部材からなる伝動体摺接部及び裏面被覆部を一体的に設けてなり、前記受圧部が、前記裏面被覆部の一部を前記プランジャー側に膨出させてなることを特徴とする請求項１に記載のテンショナ装置。
【請求項３】
前記リフターが、前記プランジャーを前記テンショナアーム側へ所定量前進させる毎に該プランジャーの後退を規制するラチェット式であることを特徴とする請求項１又は２に記載のテンショナ装置。
【請求項４】
前記肉抜き部が前記受圧部を貫通する円孔であることを特徴とする請求項１から３の何れか１項に記載のテンショナ装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
従来、上記テンショナ装置において、無端伝動体に沿って延びるテンショナアームと、該テンショナアームを無端伝動体側に押圧するプランジャーを有するリフターとを備え、テンショナアームにおけるプランジャーからの受圧部に、該受圧部とプランジャーとの間の打音を抑えるべく別途緩衝材を設けたものがある（例えば、特許文献１参照。）。
【特許文献１】特開平１１－２８０８５７号公報